

# 「組合員の想いをかたちにつなげること」をめざす運営方針

生協を利用して声を上げることが生協運営への参加の第一歩です。

事業のプロセスへの参加が生協事業の発展につながります。

組合員の関心に基づいて、つながりや活動ができる条件をつくります。

民主的に運営され、社会的責任を果たせる組織であるため、機関運営への参加をさらに強めます。

## I. 宅配や店舗など、事業を運営する中ですすめていくこと

- I-① 加入時には生協の運営原則「出資・利用・運営」を周知します。
- I-② 組合員の声に対するフィードバックを強めます。
- I-③ 組合員の声をもとにした事例研究や協同組合の基本学習を強めます。
- I-④ 組合員の声をすべての部署で共有できる仕組みづくりをおこないます。

## II. 機関（総代会及び理事会、それら関連する会議など）を運営する中ですすめていくこと

- II-① 総代の役割や総代会までの議論のプロセスを見直します。
- II-② 組合員の声やニーズをもとに理事会関連会議で実現に向け話し合います。
- II-③ より多くの組合員の声を共有し方針づくりをすすめます。
- II-④ ふだんのくらしの困り事や心配事を広く知る取り組みをすすめます。

## III. 組合員活動の組織や場（エリア協議会、地域委員会、チーム活動、ひろば活動など）を運営する中ですすめていくこと

- III-① ふだんのくらしの課題をテーマにした学びを提供します。
- III-② 組合員の多様な活動がすすむよう適切なサポートをおこないます。
- III-③ SNSを活用して組合員活動を発信しひろめます。
- III-④ 組合員活動の目的や組合員活動の組織を見直します。

## IV. 声として出されない組合員の想いや願いに対して

- IV-① 声をあげることの大切さや意味合いを繰り返し伝えていきます。
- IV-② 組合員がいつでも相談できるよう基本対応を徹底していきます。
- IV-③ 定期的なアンケートにより組合員の声を聴くことを検討します。
- IV-④ 脱退や利用休止の理由を掘り下げて以後の事業や活動に活かします。

組合員の声を全組織内で共有する仕組みのイメージ

- .....▶ 組合員の声
- ▶ 声にこたえた対応・フィードバック
- ▶ 職員の声

